

団体に関連した、循環器病に係る現状・課題と今までの取組について

- 介護支援専門員の職能団体として各地の「脳卒中医療福祉連携会議」「在宅医療推進会議」等循環器病関連会議に参画し、保健・医療・福祉等の関係団体や行政とよりスムーズに連携を図れるように調整を図っている。
- 介護支援専門員法定研修課程では法定研修テキストを作成し「ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表・入退院時における医療との連携に関する事例」等高血圧・心疾患・脳血管疾患を含む疾患の特徴や予防について、医療との連携を具体的に指導している。
- 循環器病について医療機関と地域の連携強化を推進するための仕組みづくりが求められる。

短期的（数年程度）に重点的に取り組むべきと考える循環器病対策とその理由について（予防・普及啓発、保健・医療・福祉の提供体制、研究等）

- 急性期から在宅生活に至るまで、切れ目のない医療・介護・福祉の連携体制整備が求められている。
- 慢性心不全の患者（利用者）について、退院前のカンファレンス、担当者会議を丁寧に開催したケースは再入院率の低下や入院までの期間が長くなる（在院日数は若干長くなる傾向はある）。効果的、効率的に退院支援を行う取り組みが重要であるという認識を着実に浸透させる必要がある。
- 循環器病について多職種連携、地域資源の活用など効果的な支援方策を検討する必要がある。
- 介護保険法第4条の国民の努力義務、つまり、要介護とならないように健康増進、自立した生活を営めるように日頃から努力をする。健康管理を行うことを保険医療機関と共同し国民に伝えていく必要がある。

中長期的（10年単位）に重点的に取り組むべきと考える循環器病対策とその理由について（予防・普及啓発、保健・医療・福祉の提供体制、研究等）

- 利用者が地域包括ケアシステムのなかで、在宅生活を継続していくことができるよう支援体制構築のために必要な取り組み（多職種連携教育の機会の提供等）の整理、加えて、職場復帰支援に関する課題の整理や検討が必要である。
- 循環器病の患者家族支援について実態把握と支援方法の検討が求められている。
- 脳血管認知症を伴う患者（利用者）への支援方法の確立が求められている。
- 中等教育において地域包括ケアにおける循環器病について学ぶ機会が必要である。

日本介護支援専門員協会 の取組み、現状や課題等



一般社団法人日本介護支援専門員協会

1. 設立の目的

- 公正・中立なケアマネジメントの確立
- 介護支援専門員の資質と社会的地位の向上
- 国民の健康と福祉の向上

【東北ブロック】
青森県、岩手県
宮城県、秋田県
山形県、福島県

【北海道ブロック】
北海道

【北陸ブロック】
富山県、石川県
福井県

【甲信越ブロック】
新潟県、山梨県
長野県

【北関東ブロック】
茨城県、栃木県
群馬県

【中国ブロック】
島根県、岡山県
広島県、山口県

【九州・沖縄ブロック】
福岡県、佐賀県
長崎県、熊本県
大分県、宮崎県
鹿児島県、沖縄県

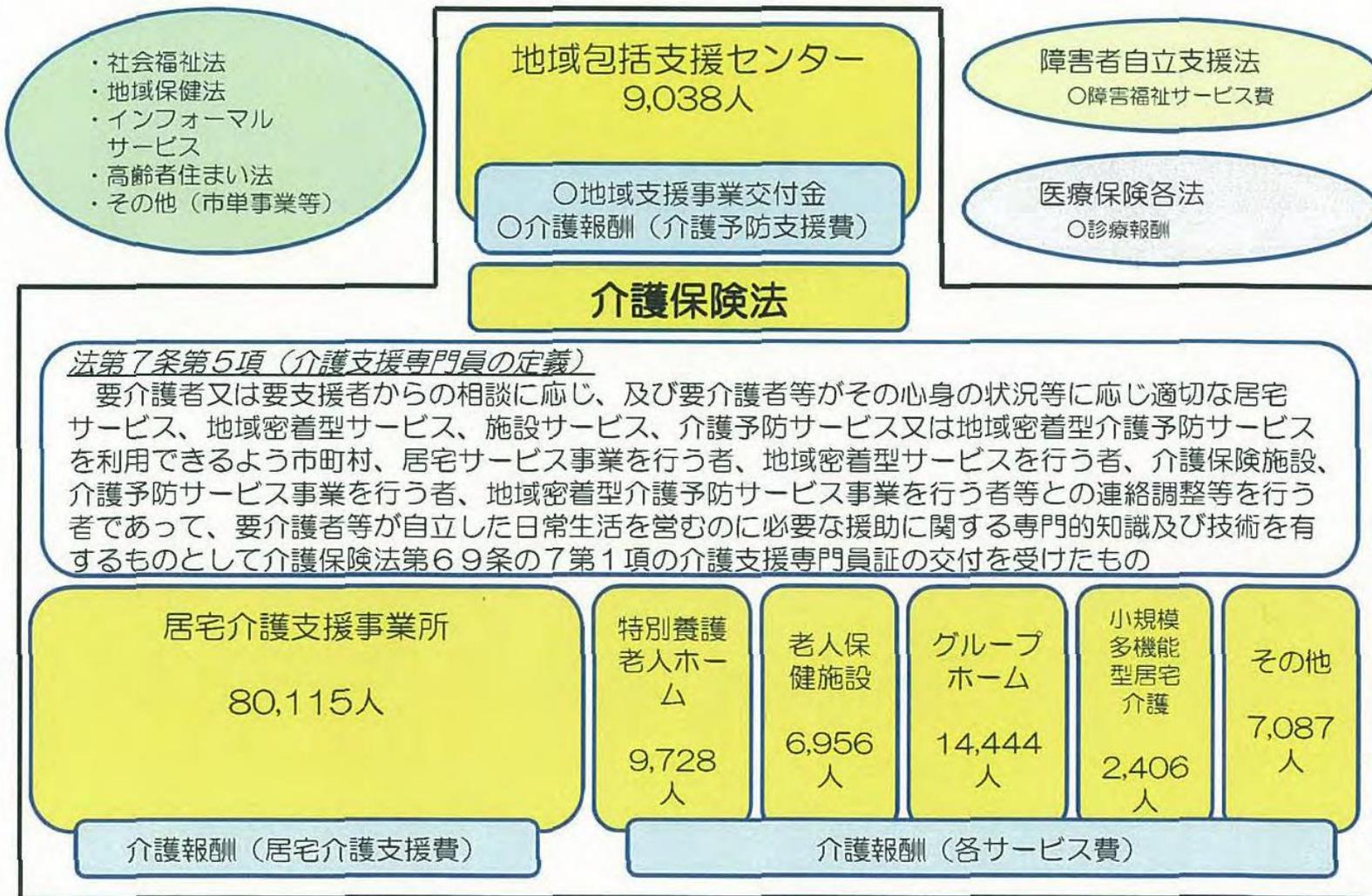
【南関東ブロック】
埼玉県、千葉県
東京都、神奈川県

【四国ブロック】
徳島県、香川県
愛媛県、高知県

【近畿ブロック】
滋賀県、京都府
大阪府、兵庫県
奈良県、和歌山県

【東海ブロック】
岐阜県、静岡県
愛知県、三重県

1. 介護支援専門員（ケアマネジャー）の制度的位置付け



※従事者数は平成22年介護サービス施設・事業所調査のデータ

出典：平成28年3月28日第1回介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上と今後のあり方に関する検討会資料より

平成29年 介護サービス施設・事業所調査結果

(人)

事業所名	総数
居宅介護支援事業所	104,049
介護予防支援	12,317
特定施設（計画作成担当者・地域密着含む）	4,262
グループホーム（計画作成担当者）	21,996
小規模多機能型居宅介護	5,697
特別養護老人ホーム（地域密着型含む）	10,351
老人保健施設	6,070

出典：平成29年介護サービス施設・事業所調査結果の統計表から抜粋し作成

課題検討の理由

課題検討の理由	検討内容	テーマ	出典
入院時の情報提供において、本人の望む生活に近づけられるような情報提供が求められている。	入退院時におけるケアマネジャーの役割	ケアマネジャーに求められる入退院時の関わりの基本的視点	H28年度老健事業「入退院時におけるケアマネジャーと医療機関等職員との多職種連携を踏まえたケアマネジメントの質の向上に関する調査研究事業」報告書
在宅での日常生活を支える多職種連携では、介護サービスが行われるなかで看護職や介護職が中心となり継続的なアセスメントが実施されている。悪化や変化の予兆を捉えられる体制が求められる。	中重度者を地域で支える仕組み	在宅医療・介護連携から多職種連携へ	H28年度老健事業「地域包括ケア研究会報告書～2040年に向けた挑戦」報告書

課題検討の理由

課題検討の理由	検討内容	テーマ	出典
多職種連携は専門職ごとの研修会を重ねるだけではなく、多職種連携教育の機会の提供により実現されるべきである。	中重度者を地域で支える仕組み	多職種連携教育（IPE）の必要性	H28年度老健事業「地域包括ケア研究会報告書～2040年に向けた挑戦」報告書
家族としては認知症が重度になっても、できれば自宅介護で、最後まで自宅で看取りたいという希望があるが、現実的な判断として、介護は介護系施設で、看取りは現在の入院病院となっている。家族にも葛藤が存在している状況が推察される。	聞き取り調査の結果と考察	考察	H28年度老健事業「認知症の症状が進んできた段階における医療・介護の在り方に関する調査研究事業」報告書

課題検討の理由

課題検討の理由	検討内容	テーマ	出典
入退院時のケアマネジメントの質の向上を図るために、ケアマネジャーは、どのようにケアプランを作成すべきか、標準的な工程を整理するとともに、それらを管理するためのチェックリストや情報収集をサポートするツール類の開発、およびそれらを活用するための手引きが作成された。	事業全般	成果物	H28年度老健事業「入退院時におけるケアマネジャーと医療機関等職員との多職種連携を踏まえたケアマネジメントの質の向上に関する調査研究事業」報告書
個々のサービスの利用促進にとどまらず、地域包括ケアシステムの推進の観点からの総合的なアプローチが重要であると考えられる。	現状の課題と方向性	地域包括ケアシステムの中での利用促進の方向性	H28年度老健事業「訪問によるサービス提供を行う介護保険サービスの実態と今後のあり方に関する調査研究事業」報告書

介護支援専門員実務研修の見直しについて

研修課目（介護支援専門員実務研修）		時間
講義	介護保険制度の理念と介護支援専門員	2
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基本	2
	要介護認定等の基礎	2
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術	
	受付及び相談と契約	1
	アセスメント、ニーズの把握の方法	2
	居宅サービス計画等の作成	2
	モニタリングの方法	2
	実習オリエンテーション	1
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の展開技術	
	相談面接技術の理解	3
地域包括支援センターの概要	2	
演習	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術	
	アセスメント、ニーズの把握の方法	4
	アセスメント、居宅サービス計画等作成演習	6
	居宅サービス計画等の作成	4
	介護予防支援（ケアマネジメント）	4
	介護支援サービス（ケアマネジメント）の展開技術	
	チームアプローチ演習	3
意見交換、講評	1	
実習	介護支援サービス（ケアマネジメント）の基礎技術に関する実習	
合計		44

研修課目（介護支援専門員実務従事者基礎研修）		時間
講義	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	3
	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	7
	ケアマネジメント演習講評	6
演習	ケアマネジメント点検演習	14
	研修を振り返っての意見交換、ネットワーク作り	3
合計		33

任意研修であった実務従事者基礎研修を統合（＝実務研修の充実）

研修課目（新・介護支援専門員実務研修）		時間
講義	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	3
	ケアマネジメントに係る法令等の理解（新）	2
	地域包括ケアシステム及び社会資源（新）	3
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義（新）	3
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理（新）	2
	ケアマネジメントのプロセス（新）	2
	実習オリエンテーション	1
	自立支援のためのケアマネジメントの基本	6
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	4
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意（新）	2
介護支援専門員に求められるマネジメント（チームマネジメント）（新）	2	
ケアマネジメントに必要な基礎知識及び技術		
受付及び相談並びに契約	1	
アセスメント及びニーズの把握の方法	6	
居宅サービス計画等の作成	4	
サービス担当者会議の意義及び進め方（新）	4	
モニタリング及び評価	4	
実習振り返り	3	
ケアマネジメントの展開（新）		
基礎理解	3	
脳血管疾患に関する事例	5	
認知症に関する事例	5	
筋骨格系疾患と廃用症候群に関する事例	5	
内臓の機能不全（糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等）に関する事例	5	
看取りに関する事例	5	
アセスメント、居宅サービス計画等作成の総合演習（新）	5	
研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	2	
実習	ケアマネジメントの基礎技術に関する実習	
合計		87

介護支援専門員専門研修の見直しについて

研修課目（専門研修Ⅰ）		時間
講義	介護保険制度論	2
	対人個別援助	2
	ケアマネジメントとそれを担う介護支援専門員の倫理	1
	ケアマネジメントのプロセスとその基本的考え方	3
	保健医療福祉の基礎理解「高齢者の疾病と対処及び主治医との連携」	4
	保健医療福祉の基礎理解「社会資源活用」	3
	保健医療福祉の基礎理解「人格の尊重及び権利擁護」 ※	2
	保健医療福祉の基礎理解「リハビリテーション」 ※	3
	保健医療福祉の基礎理解「認知症高齢者・精神疾患」 ※	3
	サービスの活用と連携「訪問介護・訪問入浴介護」 ※	3
	サービスの活用と連携「訪問看護・訪問リハビリテーション」 ※	3
	サービスの活用と連携「居宅療養管理指導」 ※	3
	サービスの活用と連携「通所介護・通所リハビリテーション」 ※	3
	サービスの活用と連携「短期入所・介護保険施設」 ※	3
サービスの活用と連携「介護保険施設・認知症対応型共同生活介護・特定施設入居者生活介護」 ※	3	
サービスの活用と連携「福祉用具・住宅改修」 ※	3	
演習	対人個別援助技術（ソーシャルケースワーク）	9
※3課目を選択して受講		合計 33

研修課目（専門研修Ⅱ）		時間
講義	介護支援専門員特別講義	2
	介護支援専門員の課題	3
	「居宅介護支援」事例研究 ※1	6
	「施設介護支援」事例研究 ※2	6
演習	サービス担当者会議演習	3
	「居宅介護支援」演習 ※1	6
	「施設介護支援」演習 ※2	6
※1か※2を選択して受講		合計 20

研修課目（専門研修Ⅰ）		時間
講義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	3
	対人個別援助技術及び地域援助技術	3
	ケアマネジメントの実践における倫理	2
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践（新）	4
	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習（新）	2
	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	12
講義・演習	ケアマネジメントの演習（新）	
	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	4
	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	4
	認知症に関する事例	4
	入退院時等における医療との連携に関する事例	4
	家族への支援の視点が必要な事例	4
	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	4
	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	4
	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り（新）	2
	合計	56

研修課目（専門研修Ⅱ）		時間
講義	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	4
講義・演習	ケアマネジメントにおける実践事例の研究及び発表（新）	
	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	4
	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	4
	認知症に関する事例	4
	入退院時等における医療との連携に関する事例	4
	家族への支援の視点が必要な事例	4
	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	4
状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	4	
合計	32	

12

2. 介護支援専門員の質の向上

①研修事業

- 居宅介護支援事業所管理研修
- 講師指導者養成研修
- 医療との連携に特化したレベルアップ研修
- 施設ケアマネジメントの手引き伝達研修
- 災害支援ケアマネジャー養成研修 等



②研修改善

- 介護支援専門員研修改善事業受託（厚生労働省老健局振興課）
- 介護支援専門員研修テキストの作成
- 受講管理システム及びe-ラーニングの改善及び普及

〈参考資料〉

診療報酬改定に関する研修会一覧

	研修名	テーマ	日程	開催地／会場
1	介護支援専門員の医療的ケア（リハビリテーション、口腔機能向上、栄養改善）の知識向上に向けた研修会 （平成21年老人保健健康増進等事業）	ケアマネジメントとリハビリテーションの総論、リハビリテーションの知識および実践（連携）、ケアマネジメントと口腔機能向上・栄養改善	平成22年3月11日（木）	開催地：東京都港区 会場：Learning Aquare新橋
2	「医療ニーズと支援のポイント」全国共通研修会 （運営は都道府県支部またはブロック、当協会より講師を派遣）	当協会書籍「医療ニーズと支援のポイント」から運営支部がテーマを選定	平成26年2月1日（土）	開催地：京都府京都市 会場：京都テルサ館
			平成26年2月3日（月）	開催地：福岡県福岡市 会場：福岡市民福祉プラザ
			平成26年2月22日（土）	開催地：北海道 会場：かでの2・7
			平成26年2月25日（火）	開催地：佐賀県佐賀市 会場：マリトピア
			平成26年3月16日（日）	開催地：石川県 会場：石川県地場産業振興センター
			平成26年5月24日（土）	開催地：兵庫県神戸市 会場：兵庫県立のじぎく会館
			平成26年8月9日（土）	開催地：静岡県静岡市 会場：静岡県総合研修所 もくせい会館

診療報酬改定に関する研修会一覧

	研修名	テーマ	日程	開催地／会場
3	「在宅医療と介護保険サービスの関係と患者・利用者の在宅ケア」研修会 (公益財団法人在宅医療助成 勇美記念財団助成事業)	在宅医療と介護保険サービスの関係と患者・利用者の在宅ケア	平成26年6月15日 (日)	開催地：埼玉県さいたま市 会 場：さいたま共済会館
4	認知症対応型通所介護研修会in山形 山形県介護支援専門員協会第3回研修会 (一般社団法人山形県介護支援専門員協会との共催)	新研修カリキュラムに対応したグループホームのケアプランの作成の考え方～より質の高いケアマネジメントを目指して～	平成29年3月12日 (日)	開催地：山形県山形市 会 場：ヒルズサンピア山形
5	医療と介護の同時改定を見据えた自立支援に資するケアマネジメント合同研修会～在宅リハビリテーションを活用するために～ (全国デイ・ケア協会・日本訪問リハビリテーション協会、当協会との3団体共催)	医療と介護の同時改定を見据えた自立支援に資するケアマネジメント、自立支援に資するケアマネジメント	平成30年2月17日 (土)	開催地：東京都千代田区 会 場：損保会館

市民講座の開催一覧

	研修名	テーマ	日程	開催地／会場
1	「看取りの体験から学んだこと～住み慣れた自宅で暮らし続けるとは～」 「認知症グループホームにおける介護報酬改定と看取り」 (公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団助成事業)	医師・看護師・介護士など在宅医療に関係した職種の方と在宅で看取りをされた家族の経験談を通じて市民啓発に役立つ市民講座開催への支援及びアンケート調査	平成24年2月4日(土)	開催地：山梨県甲府市 会場：山梨県男女共同参画推進センターびゅあ総合
			平成24年2月12日(日)	開催地：東京都千代田区 会場：情報オアシス
2	「在宅医療と介護保険サービスの関係と患者・利用者の在宅ケア」研修会 (公益財団法人 在宅医療助成勇美記念財団助成事業)	在宅医療と介護保険サービスの関係と患者・利用者の在宅ケア	平成26年6月15日(金)	開催地：埼玉県さいたま市 会場：さいたま共済会館
3	市民講座・在宅介護相談会「～在宅介護の悩み解決!! いま始められる備えとは～」 (全国生活協同組合連合会・全国労働者共済生活協同組合連合会助成金事業)	市民に向けた在宅介護を取り巻く制度の普及啓発	平成27年9月26日(土)	開催地：千葉県印西市 会場：印西市立中央駅前地域交流館
			平成27年10月27日(火)	開催地：兵庫県たつの市 会場：たつの市はつらつセンター
4	市民講座「～複雑な介護保険制度を理解し、自助、互助を活用した生活ができるように～」 (全国生活協同組合連合会・全国労働者共済生活協同組合連合会助成金事業)	高齢者の自立支援を促進する支援活動	平成28年9月27日(火)	開催地：岡山県瀬戸市 会場：牛窓町公民館
			平成28年10月28日(金)	開催地：山梨県甲府市 会場：山梨県男女共同参画推進センターびゅあ総合
			平成28年11月6日(日)	開催地：岡山県岡山市 会場：岡山ふれあいセンター

市民講座の開催一覧

	研修名	テーマ	日程	開催地／会場
5	市民講座「フレイル予防のコツ」「フレイルを理解して、要介護状態にならないようにしよう！」 (全国生活協同組合連合会・全国労働者共済生活協同組合連合会助成金事業)	要介護状態にならないための「フレイル」(虚弱)の理解と予防方法の普及啓発	平成29年11月5日(日)	開催地：長崎県佐世保市 会場：佐世保市中央公民館
			平成29年12月6日(水)	開催地：青森県平川市 会場：平川市東京会館
6	市民フォーラム「人生の最終段階をどう迎えますか？もしも、のために話しておこう。人生の最終段階における医療・ケアについて」 (全国生活協同組合連合会・全国労働者共済生活協同組合連合会助成金事業)	人生の最終段階における意思決定支援を図るための情報提供・普及啓発の在り方検討	平成30年10月7日(日)	開催地：宮崎県宮崎市 会場：シーガイア
			平成30年11月16日(金)	開催地：千葉県松戸市 会場：小金原市民センター
7	市民向けフォーラム「ときどき病院、ほぼ在宅～自宅で暮らしたい！そうだ！かかりつけ医に相談しよう～」 (朝日生命保険相互会社「朝日の月」醸成事業)	在宅医療に関する普及啓発	平成31年3月3日(日)	開催地：岡山県岡山市会 場：ターミナルスクエア
8	市民フォーラム「認知症になってもやさしいわが町」 (全国生活協同組合連合会・全国労働者共済生活協同組合連合会助成金事業)	認知症に関する知識を深めるための普及啓発	令和元年11月21日(木)	開催地：静岡県三島市 会場：静岡県総合健康センター
			令和元年12月7日(土)	開催地：栃木県宇都宮市 会場：とちぎ福祉プラザ